

● 低水準ながら増加を示すリバースモーゲージ取扱金融機関数

去る3月23日、国土交通省から「平成29年度民間住宅ローンの実態に関する調査」が公表された。ここでは、高齢者が所有している住宅を担保にシテ生活資金等の融資を受け、当該借入者の死亡時に当該住宅を処分して一括返済するリバースモーゲージの取扱金融機関の増加状況を確認しておこう。これによると、リバースモーゲージ取扱金融機関数は全体の5.1%とこの5年間で3.3倍に増加した。回答に応じた都市銀行（4行）、信託銀行等（28行）のかなりの割合と地方銀行（58行）中（第二地方銀行を除く。）の過半数程度がリバースモーゲージ融資を手掛けていると見られる。また、「商品化を検討している」金融機関もこの5年の間にほぼ倍増している。今後の拡大が予想される。

（図表）リバースモーゲージ商品の取り扱い状況（単位：金融機関数、%）

	25年度	27年度	29年度
①現在商品として扱っている	19 (1.5)	41 (3.2)	62 (5.1)
②商品化を検討中	39 (3.0)	62 (4.9)	70 (7.8)
③商品化を予定していない	1206 (94.3)	1142 (90.5)	1083 (87.6)
④商品化したいが課題があってできない	12 (0.9)	11 (0.9)	16 (1.3)
⑤取り扱っていたが廃止した	3 (0.2)	6 (0.5)	4 (0.3)
合計	1279 (100)	1262 (100)	1215 (100)

（注）金融機関には都市銀行、信託銀行、地方銀行、第二地方銀行の他に、信用金庫、信用組合、労働金庫、農業協同組合、生命保険会社、損害保険会社、モーゲージバンク等を含む。